かわさきを元気に動かす私たちのお金

財政のはなし

令和元年度 川崎市 財政読本

152万人の
「おさいふ」に
ついて知ろう

川崎市

令和元年度　川崎市 財政読本 もくじ

かわさきを元気に動かす私たちのお金

財政のはなし

～「最幸のまちかわさき」をめざして～

「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤づくり」の3つの視点で、
それぞれの施策を進め、誰もが幸せを感じられるまちの実現を目指してまいります。

※最幸とは…川崎を幸せあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

川崎市の「おさいふ」

1 「予算」は目的に応じてつくられています。…… 1

令和元年度予算のはなし

2 一般会計は市の予算の中心。最も大きな「おさいふ」です。…… 3
3 市民一人あたりの予算の使いみちは? …… 5
〈 コラム 〉家計簿におきかえてみると… …… 6
4 市民生活に身近な「市の仕事」。ここにも予算が使われています。… 7
5 市民満足度の高い行財政運営に向けて取り組んでいます。…… 8
6 令和元年度予算で行う主な事業をチェックしましょう。…… 9

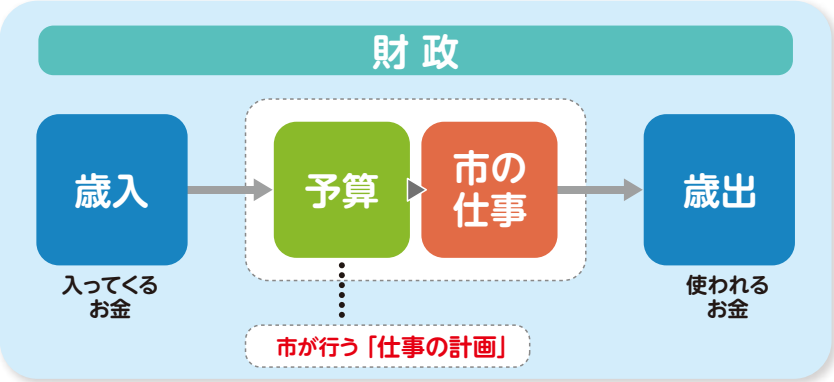
川崎市の財政を知ろう

7 川崎市の財政状況は大丈夫なの? …… 13
8 扶助費には、時代の流れや社会の様子が反映されています。…… 15
9 人件費は適切な額になるよう見直しに努めています。…… 17
〈 コラム 〉ふるさと納税で困っています …… 18
10 市の将来像を確認しながら借入金のバランスを考えています。…… 19
減債基金ってどうして必要なの? …… 21
知っていますか?これも市の事業なんです …… 22
あなたも川崎市をサポートできます! …… 23

川崎市の「おさいふ」1

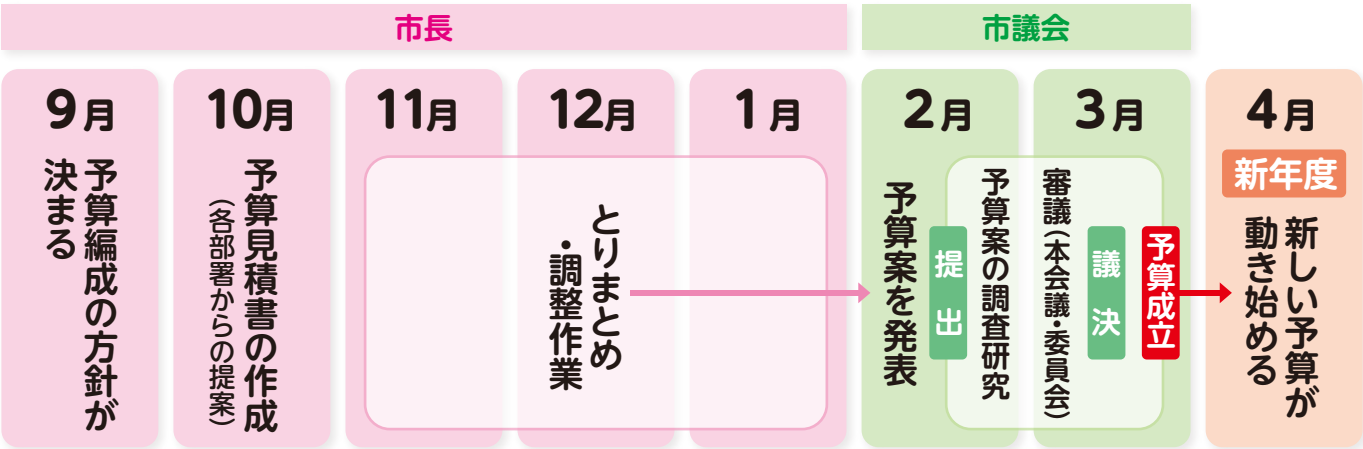
「予算」は目的に応じてつくられています。

市は市民が必要としているさまざまな仕事を行う場であり、どのような仕事をするのかを示す設計図が「予算」です。
市では1年間に入ってくるお金「歳入」と、使われるお金「歳出」を見込んで「予算」をつくり、これにもとづいて仕事を進めています。



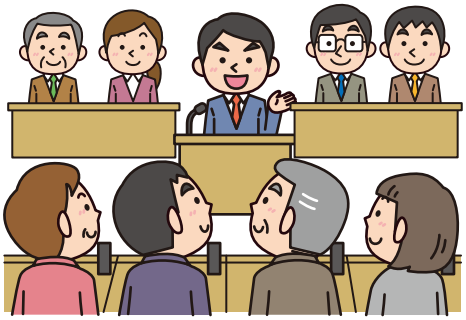
「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。

予算づくりの流れ



市長:「予算編成」

予算づくりはすべての仕事を細かく見直しチェックする作業から始まります。その上で人やモノ、サービス等にどの程度の費用がかかるのかを詳細な計画としてまとめたものが「予算案」です。市長が予算案をつくり、市議会に提出します。



市議会:「予算審議」

市長から提出された予算案は、市議会で審議されます。市議会議員は多角的にチェックしながらこれを審議し、最終的に可決されると予算が決定します。予算は毎年、年度ごとに組まれています。

ことばの解説❶ 補正予算（ほせいよさん）

年度の途中で状況の変化や新しい事態が発生した場合にも臨機応変に対応することが重要です。このとき市は仕事の計画を一部変更し、同時に予算も見直します。これをまとめた計画を「補正予算」といい、「予算」と同じように市議会で審議し、認められると予算が変更されることとなります。

目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。

予算は収入の種類や使い道などに応じ、分けて扱われています。
複数の「おさいふ」を使い分けしながら収支を明確にするのに似ています。

令和元年度 各会計予算の内訳

企業会計

市営バスや病院などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。
川崎市には現在5つの企業会計があります。

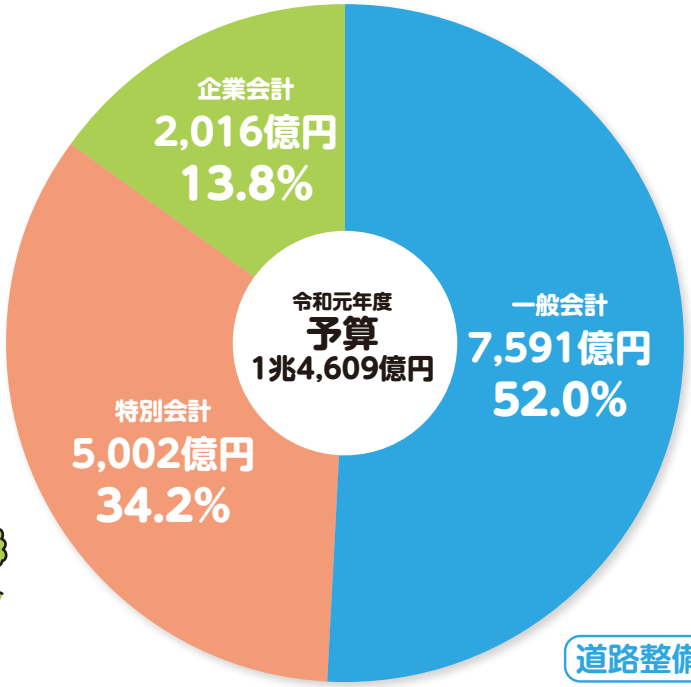
一般会計

市の基本的な仕事（保健、福祉、教育、消防、都市基盤整備、ごみ処理など）を行う予算です。主に市税で賄われています。一般会計のおさいふは1つです。

関連記事➡P.3～
次ページ以降では本年度の一般会計について詳しく紹介しています。

バス事業

病院事業



教育

福祉

道路整備

特別会計

国民健康保険や競輪なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。
川崎市には現在13の特別会計があります。

国民健康保険

競輪事業

Q 予算を「小分け」にするのはなぜでしょうか？

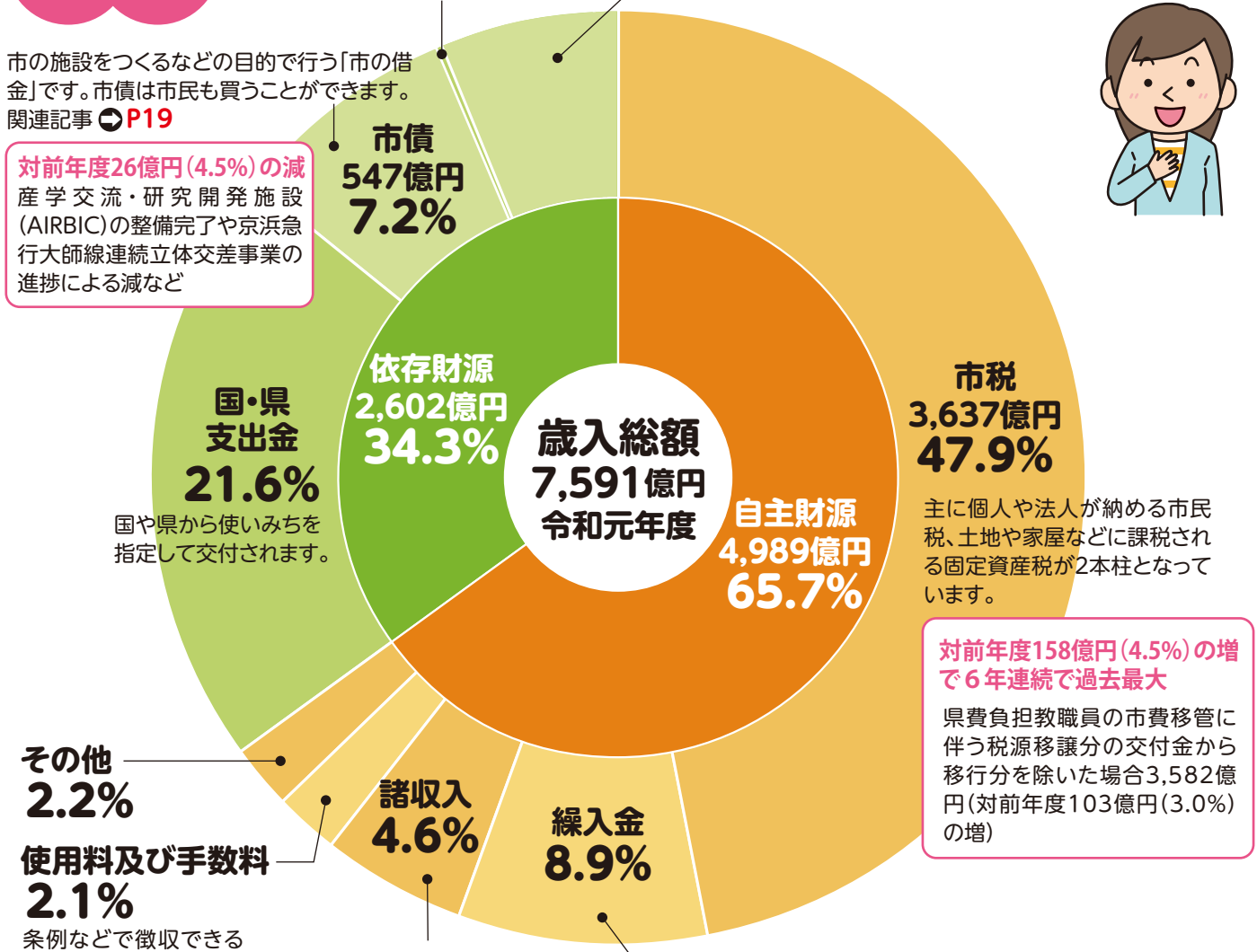
A 一部の事業については、「小分け」にすることにより、わかりやすく、使途を明確にすることが必要な場合もあるからです。

令和元年度 予算のはなし 2

一般会計は市の予算の中心。最も大きな「おさいふ」です。

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

歳入



地方交付税 0.1%
地域（地方自治体）ごとの税収の差を調整するために国から配分されるお金です。

その他5.4%

市の施設をつくるなどの目的で行う「市の借金」です。市債は市民も買うことができます。
関連記事 ➡P19

対前年度26億円（4.5%）の減
産学交流・研究開発施設（AIRBIC）の整備完了や京浜急行大師線連続立体交差事業の進捗による減など

国・県支出金 21.6%
国や県から使いみちを指定して交付されます。

市税 3,637億円 47.9%
主に個人や法人が納める市民税、土地や家屋などに課税される固定資産税が2本柱となっています。

対前年度158億円（4.5%）の増で６年連続で過去最大
県費負担教職員の市費移管に伴う税源移譲分の交付金から移行分を除いた場合3,582億円（対前年度103億円（3.0%）の増）

その他 2.2%

使用料及び手数料 2.1%
条例などで徴収できる使用料や手数料

諸収入 4.6%
宝くじや競輪、競馬などの収益金の一部は、皆さんの身近な生活に役立てられています。
関連記事 ➡P.22

繰入金 8.9%
基金（市の貯金）から取り崩すお金や、特別会計のおさいふから入ってくるお金などです。

私のお金が社会のために活かされるのですね!

ことばの解説❷ 自主財源（じしゅざいげん）と依存財源（いぞんざいげん）

「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。
一方「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

令和元年度 一般会計予算

POINT

●予算規模 7,591億円は、対前年度225億円(3.0%)の増で5年連続過去最大の規模

過去の減債基金借入金(495億円)を除いた場合7096億円(対前年度84億円(1.2%)の増)

●減債基金新規借入金115億円

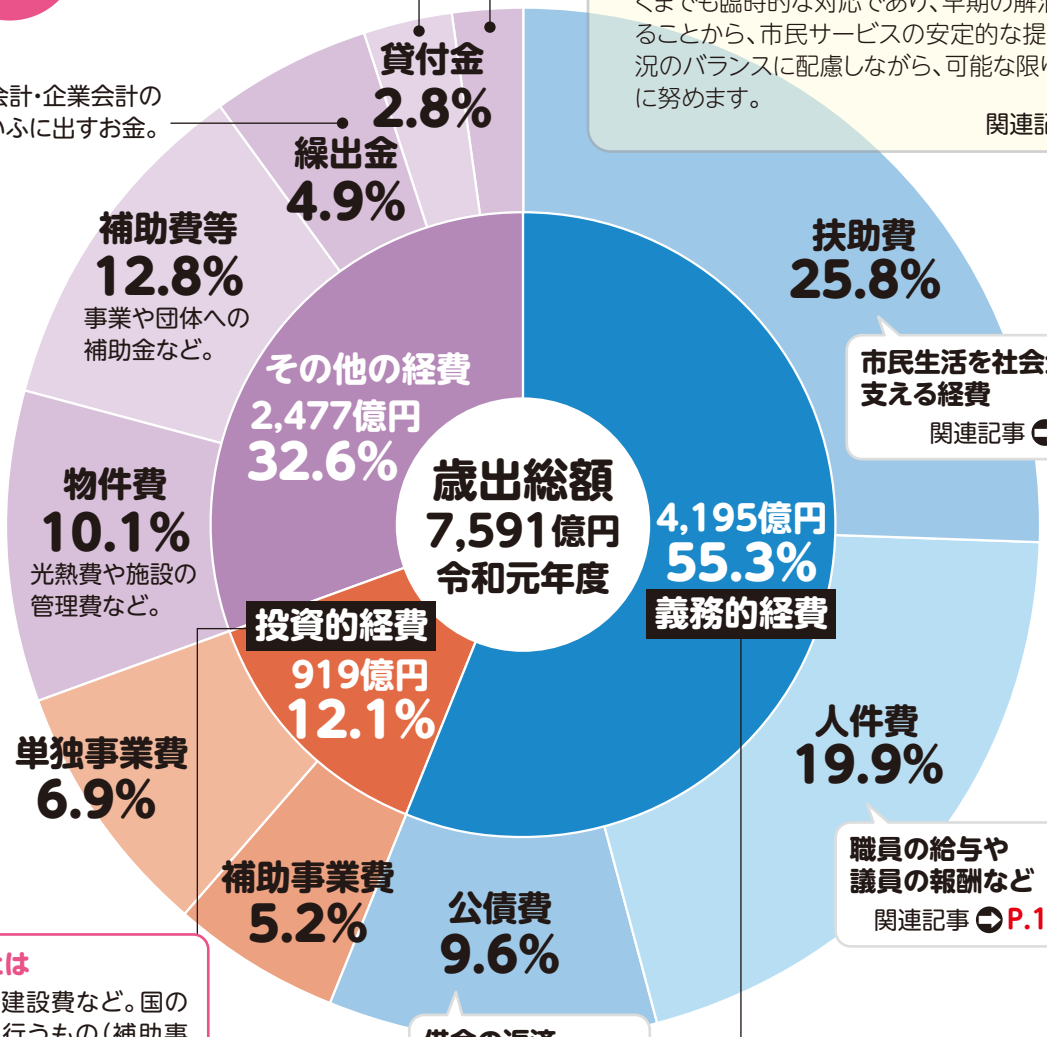
厳しい財政状況においても、「最幸のまちかわさき」の実現に向けた取組を切れ目なく推進します。
24年度決算からの借入総額は610億円となっています。

●減債基金借入金の返済について

減債基金とは、市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てることを目的に設置された基金です。
減債基金借入金については、将来の市債償還に支障を及ぼすことがない範囲で行っていますが、借入はあくまでも臨時的な対応であり、早期の解消が必要であることから、市民サービスの安定的な提供と、財政状況のバランスに配慮しながら、可能な限り早期の返済に努めます。

関連記事 ➡ P.21

歳出



市民生活を社会全体で支える経費
関連記事 ➡ P.15

職員の給与や議員の報酬など
関連記事 ➡ P.17

借金の返済(市債の償還)
関連記事 ➡ P.19

投資的経費とは
道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うもの(補助事業)と、市が単独で行うもの(単独事業)があります。

義務的経費とは
歳出のうち、必要となる見込みの金額が決まっていて、支出が義務づけられているため簡単に削減できない経費のこと。職員の給与などの人件費、児童福祉費などの扶助費及び市債の償還(借金の返済)のために必要な公債費からなっています。

義務的経費はいわゆる「固定費」と考えることができますね。

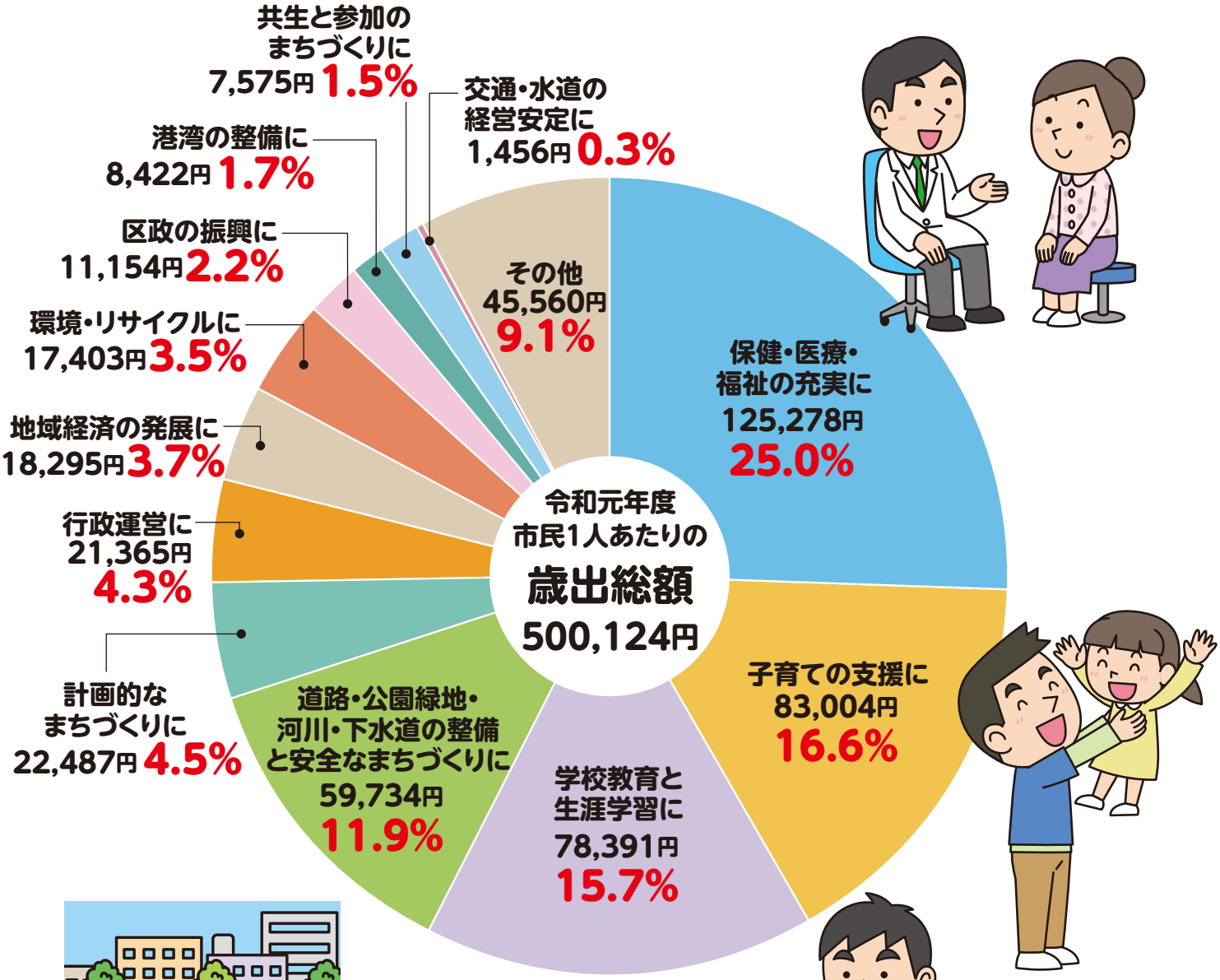
令和元年度
予算のはなし
3

市民一人あたりの予算の使いみちは?

一般会計予算(7,591億円)を人口で割り、1人の市民にとって予算がどんな割合で使われているかを図にしました。「扶助費」「物件費」などの項目も、さらに細かく具体的なものに変えて紹介します。

歳出の内訳をちがった見方で整理し、より身近なものとして再確認

※平成31年1月1日現在の推計人口:1,517,756人として計算



巨大な金額の予算を「1人あたり」に置き換えて見ると、イメージしやすくなりますね。

市民生活の幅広い分野に、きめ細かく配分されています。

コラム

家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。

限られたお金を活かし、バランスのとれた使い道を考えるという点では市の予算と家計は似ています。スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

例えば年収を500万円とすると…

収入月額

月収

お父さんとお母さんの給料　市税等の自主財源　416,700円

役所からの助成金・奨学金　国・県支出金など　171,600円

各種ローンの借入金　市債発行　45,700円

収入計 634,000円

支出月額

義務的経費

食費　人件費　126,000円

医療費など　扶助費　163,700円

ローンの返済　公債費　60,700円

車の購入・自宅の増改築・修繕費　投資的経費など　82,700円

子どもへの仕送り・おこづかい　補助費等・貸付金・繰出金など　136,700円

光熱費・被服費　物件費　64,200円

支出計 634,000円

食費や医療費など「義務的経費」の部分は支出の中で大きな割合を占めていることがわかります。

貸借対照表 バランスシート

川崎市では、財政状況をよりわかりやすく説明する取組として、企業会計的手法による財務書類を作成しています。その一つが貸借対照表です。「貸借対照表」は、本市にはどれだけの資産と負債があるのか、現在保有している資産はどのような財源で形成されているのかを表しています。

民間企業会計に準じた財務書類
平成29年度一般会計等決算

資産3兆2,289億円

純資産2兆450億円	負債1兆1,839億円

資産　土地、建物、金銭など、市民共有の財産

負債　借入金など、将来に支払いや返済が必要となる債務

純資産　資産から負債を差し引いた残高。借金によらず、過去・現在の負担により形成した資産

※金額は、各項目の億円未満を四捨五入しているため、純資産の金額と資産から負債を差し引いた金額が一致しない場合があります。
※民間企業会計に準じて作成したもので、資産のすべてが売却可能なわけではありません。

令和元年度 予算のはなし 4

市民生活に身近な「市の仕事」。ここにも予算が使われています。

日常的な光景でどのくらいの予算が使われているかはわかりにくいものです。
身近なものとして実感しやすい、いくつかの例を紹介します。

ごみ、資源の収集処理に要する経費

ごみ処理

ごみの収集や焼却、資源物のリサイクルにかかる経費など

年間126億円

世帯数:728,304世帯(平成31年1月1日現在)

1世帯あたりの負担額

年間 **17,353円**

保育園の運営に要する経費

子育て

公立保育園、民間保育園の運営費など

年間487億円

対象園児数:29,666人(月平均)

園児1人あたりに必要な経費

年間 **1,642,860円**

このうち保護者からの負担 年間 293,172円

公園の維持管理に要する経費

環境

草刈や樹木の剪定にかかる経費など

年間36億円

公園管理面積:7,514,046㎡
(市民生活に身近な公園=約2,500㎡の広さが目安)

2,500㎡あたりの経費

年間 **1,199,339円**

介護保険サービスに要する経費

福祉

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用

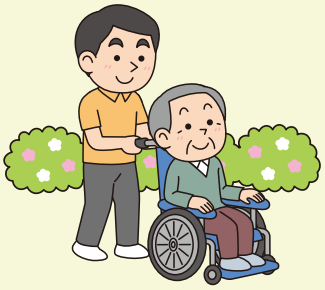
年間967億円

要介護・要支援認定者数:58,559人

対象者1人あたりに必要な経費

年間 **1,650,568円**

このうち65歳以上の保険料からの負担 年間372,203円



ことばの解説③ 川崎市総合計画

川崎の良いところを活かしながら、もっと住みやすいまちをつくっていけるように、10年後、30年後を見据えて、まちづくりの道筋を示す計画です。市の予算も川崎市総合計画に掲げる施策を着実に推進できるように編成されています。関連記事 ➡ P.9～12

令和元年度予算のはなし 5

市民満足度の高い行財政運営に向けて取り組んでいます。

政策・施策を着実に推進させるため、市民サービスや、市役所組織、職員の質の向上などの「質的改革」とともに、効果的・効率的な行財政運営に向けた取組を推進しています。

改革の取組

取組1
共に支える

みんなで地域の課題やニーズを共有し、それぞれの強みを活かした、協働・連携によるまちづくりを推進します!

取組2
再構築する

効率的・効果的な、活力のある市役所を構築し、多様化・増大化する市民ニーズや地域課題に的確かつ迅速に対応できる、持続可能な行財政運営の基盤づくりを進めます!

取組3
育て、チャレンジする

市民生活を支えるより良い市役所の構築に向け、常にチャレンジするよう職員の意識改革に取り組みます!

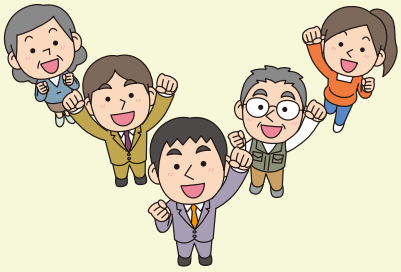
令和元年度予算における行財政改革の取組効果

川崎市総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進するための職員数の最適化

- 参加と協働・連携による多様な主体が共に担うまちづくりの推進

- 市民ニーズへの的確な対応に向けた組織の最適化
- 市民サービス向上に向けた民間部門の活用
- ICTの更なる活用
- 債権確保策の強化
- 戦略的な資産マネジメント
- 資金の調達と運用の安定化・効率化
- 公営企業の経営改善
- 出資法人の経営改善・活用
- 内部の業務改善による事務執行の効率化
- 将来を見据えた市民サービス等の再構築

- 計画的な人材育成・有為な人材確保
- 職員の能力が十分に発揮できる環境づくり
- 職場起点の業務改善の推進に向けた職員の改革意識・意欲の向上



効果額46億円を確保

令和元年度予算のはなし 6

令和元年度予算で行う主な事業をチェックしましょう。

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、
「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。
ここでは、令和元年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

国土強靭化・地震防災戦略の推進

- 地域防災力の強化に向けた取組の推進
- 防災行政無線の再整備
- 迅速・円滑な救助の実施に向けた取組の推進

まち全体の耐震化・災害時の拠点となる本庁舎等の建替え等

- 民間建築物等の耐震化の推進
- 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進
- 本庁舎等建替えの取組

上下水道機能の安定確保

- 上下水道施設等の耐震化
- 応急給水拠点の整備

気候変動への対応

- 地球温暖化対策の推進
- 五反田川放水路の整備
- 浸水シミュレーション等に基づく効果的な浸水対策の推進

消防力の強化・救急医療体制の強化

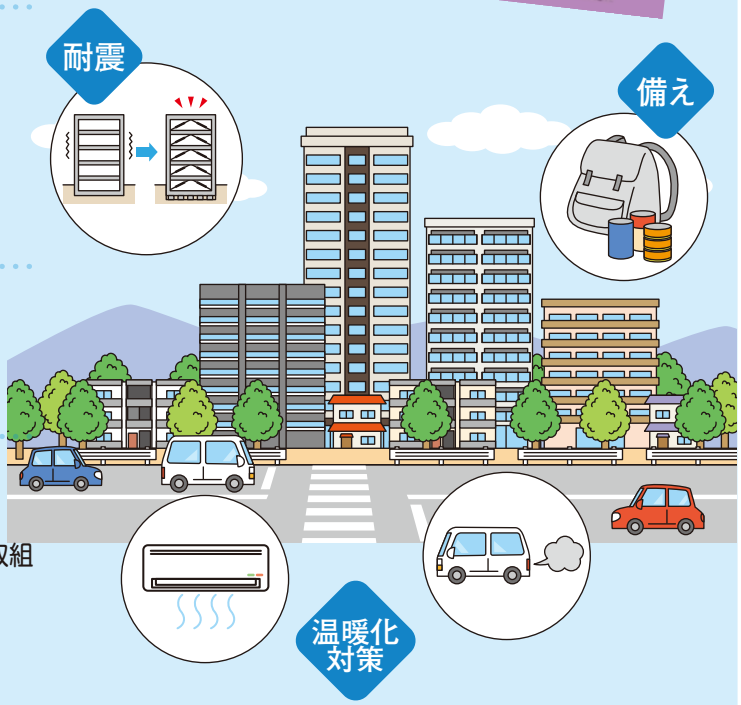
- 消防署所の整備
- 消防艇の整備

安全対策によるまちの価値の向上

- 防犯カメラの設置支援
- ESCO事業によるLED防犯灯の設置等の推進
- かわさき安全・安心ネットワークシステムを活用した取組
- 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進

区総合防災訓練の様子

防災絵本



戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

待機児童の解消

- 認可保育所受入枠の拡大(24か所1,765人の受入枠拡大)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大(5か所93人の受入枠拡大)
- 定員を超えた受入に対する保育補助者雇上補助の推進
- 認可外保育施設への支援の充実
- 幼稚園における保育ニーズへの対応(3園115人の枠拡大)
- 保育士確保対策の推進
- 幼児教育・保育の無償化の実施
- 認可保育所等の整備(保育所1,560人分、小規模保育事業171人分)

小児医療費助成制度の充実

- 小児医療費助成の実施

子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

- 児童相談システムを活用した的確な支援
- ひとり親家庭支援施策の推進
- 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の支給
- 小・中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒への支援

健康給食の推進

- 川崎らしい特色ある健康給食の実施
- 小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進

かながわ産品学校給食デーの献立

タニタ監修献立

地域の寺子屋の推進

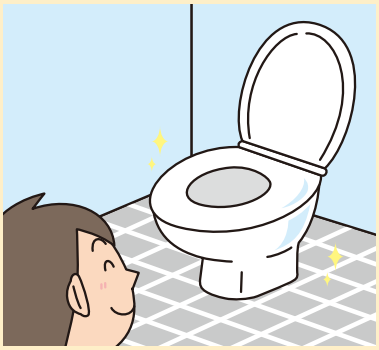
- 地域の寺子屋の開講(51か所の拡大)

「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

- 「キャリア在り方生き方教育」の推進
- 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実(外国語指導助手(ALT)の増員 91人→101人)
- 学校図書館の充実(小学校へ学校司書を配置 28校→35校)

学校施設の環境整備

- 学校施設長期保全に向けた取組(校舎24校、体育館11校)
- 学校トイレ改修(30校)
- 新川崎地区における小学校新設に向けた取組



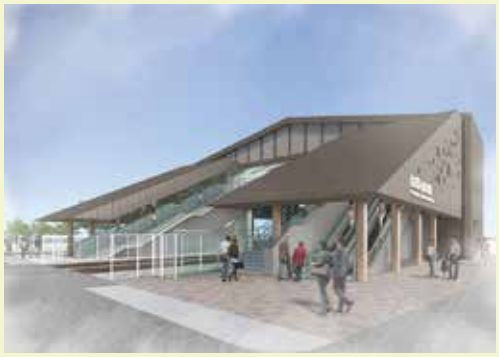
戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

総合的なケアの推進
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
- 介護サービス基盤の整備
- 障害福祉サービス基盤の整備
- 市立看護短期大学の四年制大学化に向けた取組

健康寿命の延伸に向けた取組
- がん検診の受診率向上に向けた取組
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

超高齢化社会を見据えた住宅施策
- 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進
- 民間賃貸住宅等を活用した居住支援
- 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムと連携した取組

コンパクトで暮らしやすいまちづくり
- JR南武線の駅アクセス向上に向けた取組
- 路線バスネットワークの充実に向けた路線再編の検討
- コミュニティ交通の支援
- シェアサイクル実証実験の実施


JR南武線稲田堤駅完成イメージ

戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

川崎駅周辺の整備
- 京急川崎駅周辺のまちづくりの推進

小杉駅周辺の整備
- 小杉町3丁目東地区市街地再開発事業の推進（令和2年度完成予定）

新百合ヶ丘駅周辺の整備
- 新百合ヶ丘駅周辺まちづくり方針の策定に向けた検討

地域生活拠点等の整備
- 登戸土地区画整理事業の推進
- 鷺沼駅前地区・柿生駅前南地区の再開発事業の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策
- 路線バス等の走行環境改善の推進
- 都市計画道路等の整備
- 緊急渋滞対策の推進
- 国道357号などの国直轄道路の整備促進
- 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進
- JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進
- （仮称）等々力大橋・末吉橋の整備

鉄道ネットワークの形成
- 横浜市高速鉄道3号線延伸に関する調査の実施

緑と水の循環形成
- 多摩川の魅力を活かす取組の推進
- 大規模な公園緑地の整備
- 魅力的な公園の整備
- 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

公共空間の有効活用
- 川崎駅周辺の公共空間の有効活用に向けた取組の推進

公共空間（道路）を有効活用したイベント

持続可能な循環型のまちづくり
- 資源化処理の推進
- ごみの適正かつ安定的な焼却処理
- 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

国際化に対応したイノベーションの推進

- ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進
- オープンイノベーションの推進
- Wi−Fi環境の整備などICT施策の推進

臨海部の活性化

- 臨海部の競争力強化
- 国際戦略拠点の形成・マネジメント
- 戦略拠点の形成推進
- 交通機能の強化
- 羽田連絡道路の整備
- 臨港道路東扇島水江町線の整備
- 港湾物流機能の強化

水素社会の実現

- リーディングプロジェクトの推進
- 川崎水素ネットワークの構築

水素を活用したホテル

中小企業の支援・商業の振興

- 市内中小企業・商業等の支援
- 中小企業の労働環境の改善

都市農業の振興

- 都市農業振興施策の推進

就業の支援

- 総合的な就業支援の実施

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

- 大会を契機とした「かわさきパラムーブメント」の推進
- 事前キャンプ受入準備及び機運醸成の推進
- 事前キャンプ受入に向けた等々力補助競技場の改修
- 若者文化の発信
- 道路標識の英語表記の改善等

スポーツ・文化芸術の振興

- スポーツのまちづくりの推進
- 市民の文化芸術活動の振興
- 音楽や映像のまちづくりの推進
- 等々力緑地再編整備の推進
- 橘樹官衙遺跡群の保存・整備・活用の推進

等々力硬式野球場完成イメージ

協働により、心つながるコミュニティづくり

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり
- 町内会・自治会の活動を支える取組の推進
- 地域の活動拠点としての学校施設の活用推進

シティプロモーションの推進

- 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進
- 川崎の特性を活かした観光の振興
- クルーズ船（ホテルシップ等）の受入による地域の活性化と川崎の魅力発信

戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」をめざす

行財政改革の推進

市民満足度の一層の向上に向け、市民サービスや市役所組織・職員の質の向上等の質的改革とともに、効率的・効果的な行財政運営に向けた改革を進めます。

健全な財政運営

少子高齢化の進展を見据え、将来の負担を適正な水準に保ちながら、必要な市民サービスの提供と投資を行います。

川崎市の財政を知ろう 7

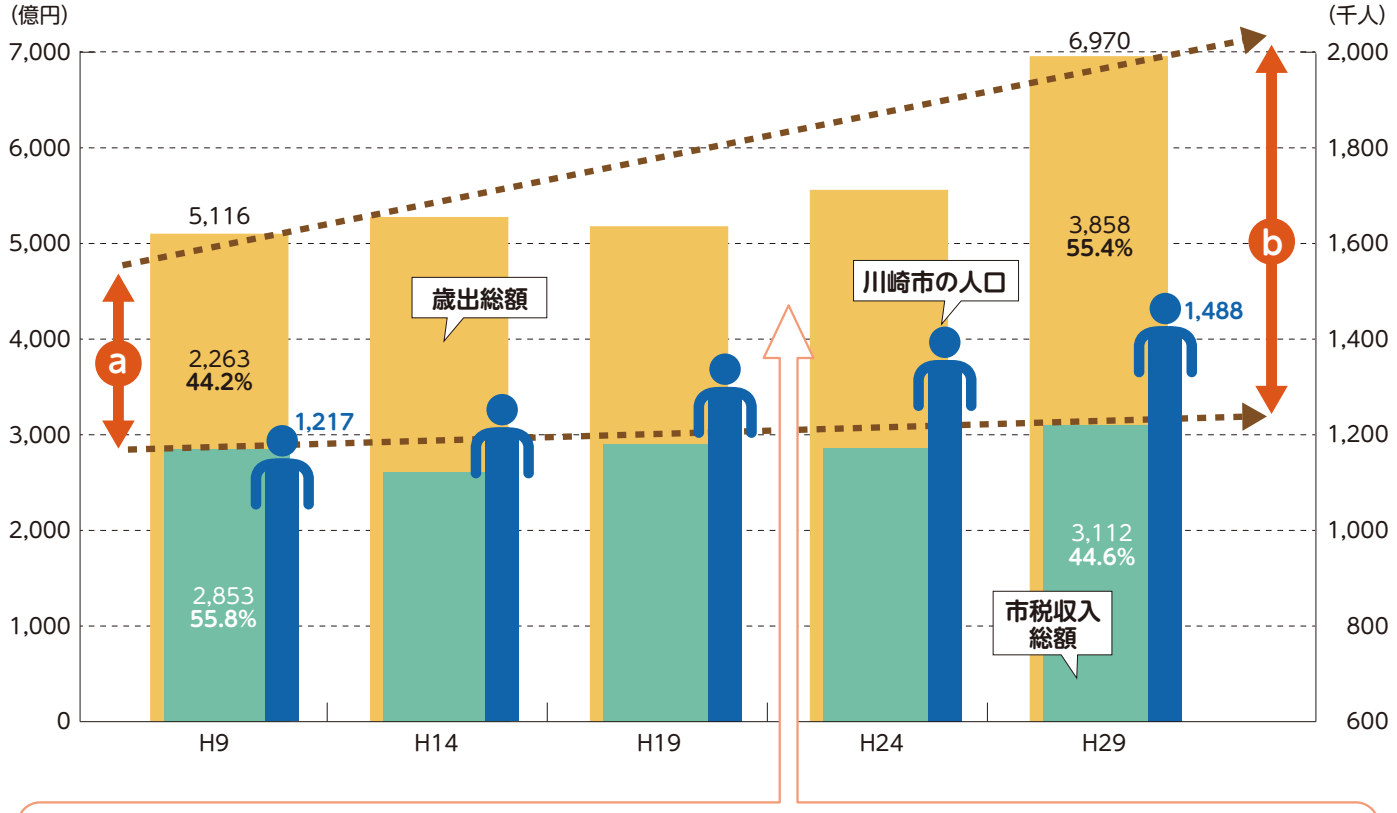
川崎市の財政状況は大丈夫なの？

人口が増加するなど活気がありますが、けっして豊かな状況とは言えません。

※普通会計とは

各会計の範囲は地方公共団体ごとに異なっていますが、他都市との比較を行うため、一般会計と特別会計のうち一部の共通する会計を足し合わせたものを普通会計と呼んで利用しています。

歳出総額と市税収入額の推移（普通会計※決算）



a ＜ b

20年前と比較してみると…

- 歳出総額は約36%増加
- 人口は約22%増加
- 市税収入額は約9%増加

市税収入額が大幅に伸びない中で、新たな行政課題に対応するため、歳出額は増加傾向にあります。

「a」より「b」が大きくなっているということは「出ていくお金が増えている」ということ。また、人口が順調に増えているのに対して、市税収入は厳しい社会経済状況の影響で伸び悩んでいます。収支のバランスをとり、安定した財政に近づけるためにさまざまな工夫を凝らして努力することが必要です。

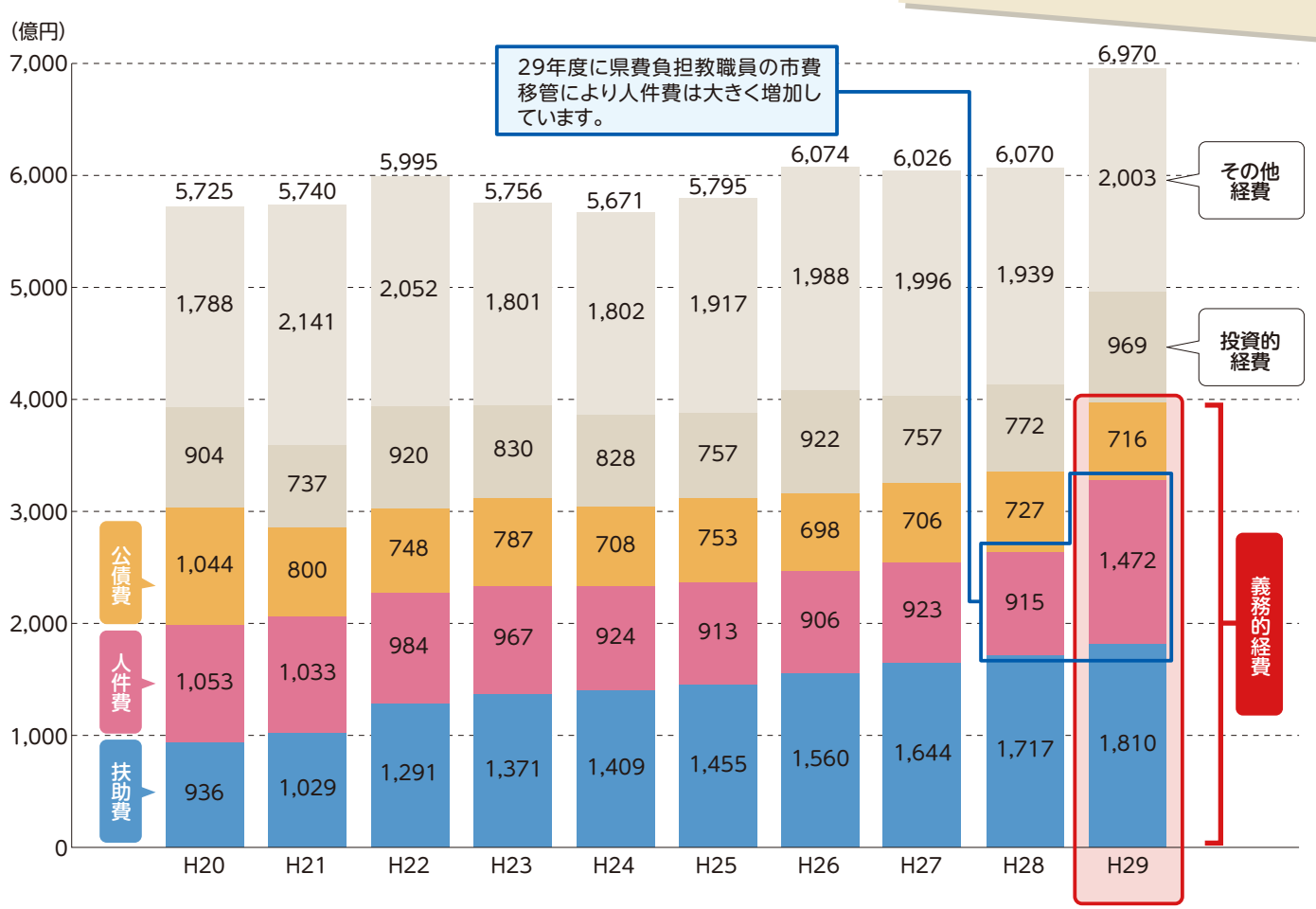
ことばの解説④ 予算（よさん）と決算（けっさん）

- 予算は「計画」であるのに対し、決算は「結果」です。1年間どのように使ったのか実績を示したものを「決算」といいます。
- 次年度の9月に市長が市議会に提出し、認定を受けます。また市では「決算」の内容を分析し、次の予算をつくるための参考にします。

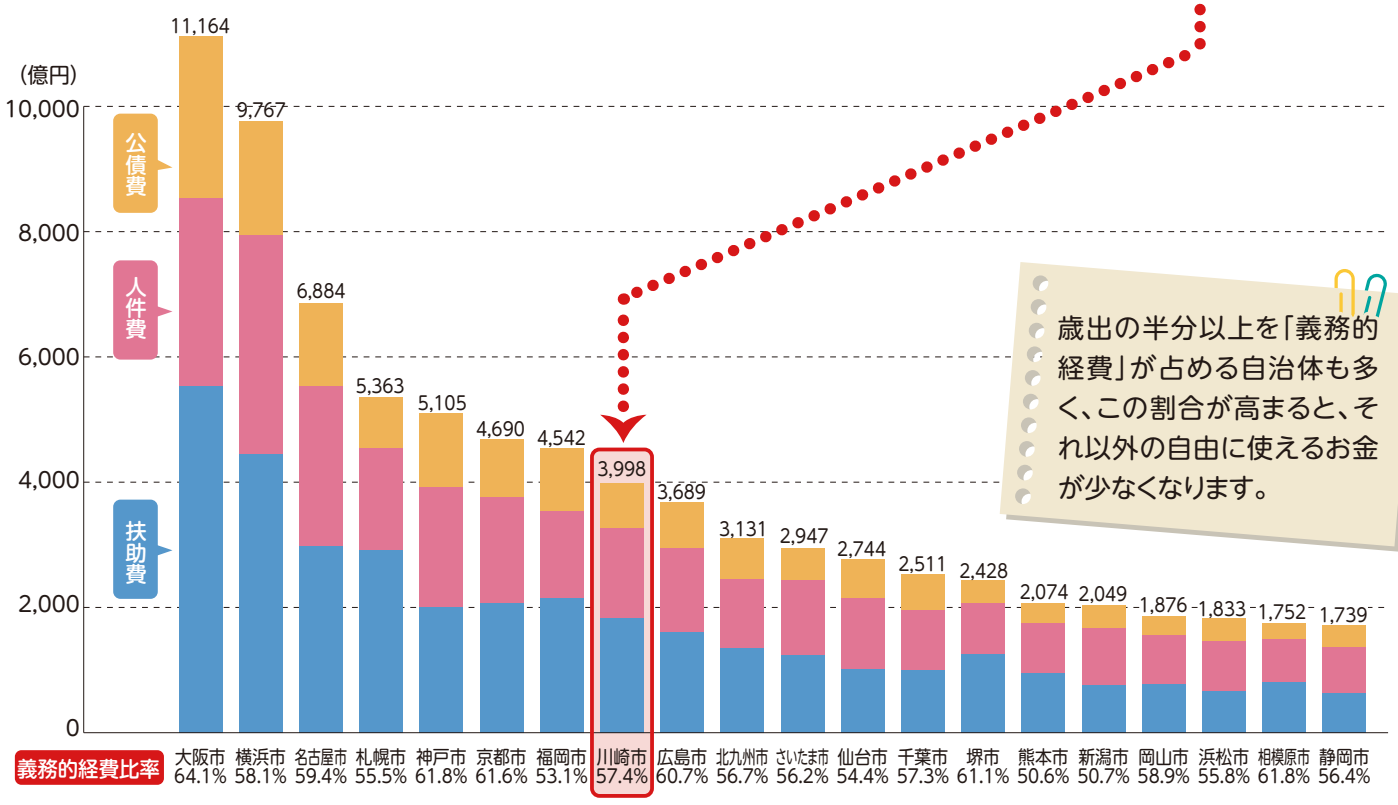
詳しく知るために「歳出」の内訳を1年ごとに見てみましょう

義務的経費の中でも「扶助費」は保育需要の増加などにより増えています。こうした新たな行政需要に的確に対応しながら、将来を見据えた財政運営を行う必要があります。

歳出（性質別）総額の推移（普通会計決算）



義務的経費の政令指定都市比較（平成29年度普通会計決算）



歳出の半分以上を「義務的経費」が占める自治体も多く、この割合が高まると、それ以外の自由に使えるお金が少なくなります。

川崎市の財政を知ろう 8

扶助費には、時代の流れや社会の様子が反映されています。

扶助費とは生活に困っている人や子育てをしている世帯や、障害者などの生活を社会全体で支えるためのお金です。

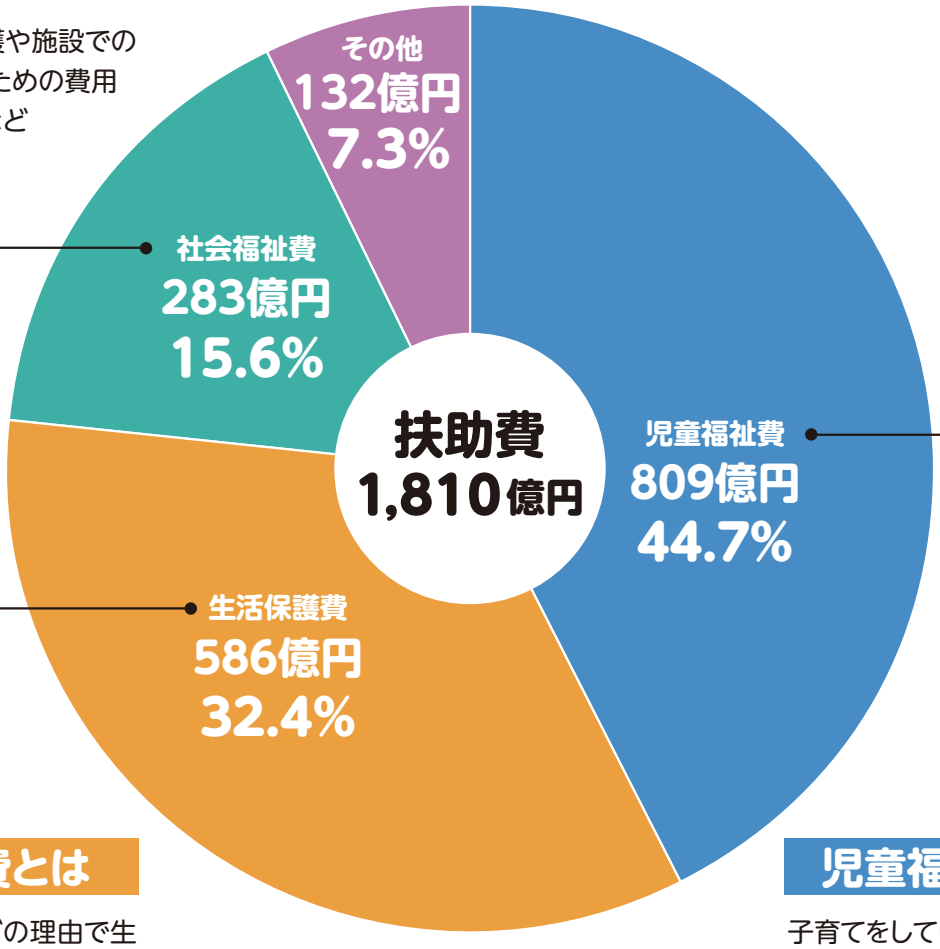
扶助費の内訳（平成29年度 普通会計決算額）

児童福祉費と生活保護費で全体の4分の3以上を占めています。

子育て環境の整備について、社会状況の変化や保護者のニーズなどに応じながら、力を入れて取り組んでいます。また、生活保護費は高齢化の進展などにより高止まりしています。

社会福祉費とは

重い病気や障害を持った方々などへの支援
- 障害者の方の介護や施設での自立・就労訓練のための費用
- 医療費の助成　など



生活保護費とは

病気で働けないなどの理由で生活に困っている方々への支援
- 生活費
- 住宅費
- 医療費の支給　など

児童福祉費とは

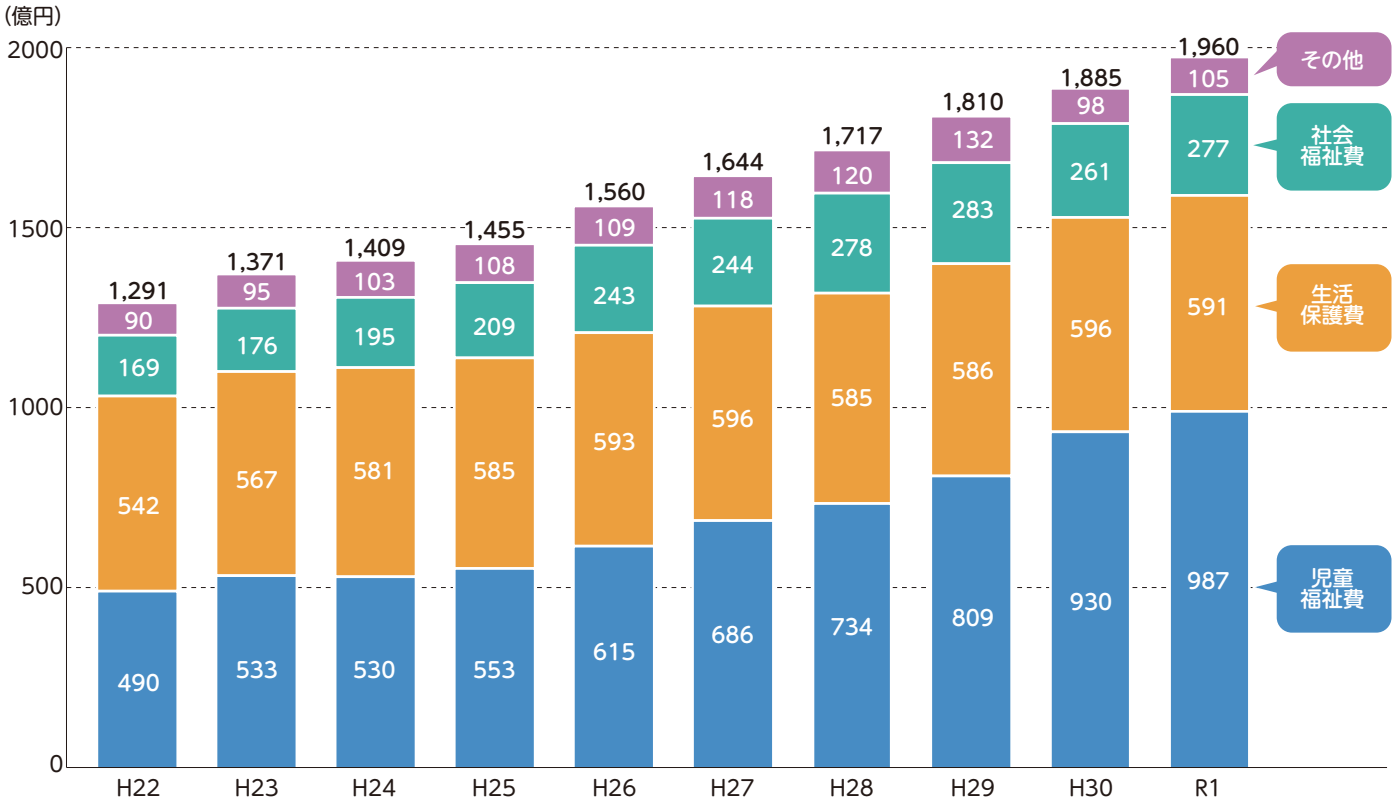
子育てをしている方々への支援
- 保育所の運営のための費用
- 小児医療費助成のための費用

など

扶助費の増加傾向は はっきりとしたものとなっています

10年前と比べて2倍に迫る金額に増加しており、介護予防や健康づくりなどの扶助費の抑制につながる取組をしっかりと進める必要があります。

扶助費の推移（普通会計決算額）



※平成30年度と令和元年度の数値は当初予算

社会保障・税一体改革に係る本市の取組

高齢化や現役世代の減少などの社会経済状況の変化を踏まえ、社会保障の充実・安定化と財政の健全化を同時に達成するため、**平成26年4月から消費税率の8%への引上げをはじめとする「税制抜本改革」が実施されました。**消費税率の引上げ分については、全て社会保障の充実・安定化に向け、「年金・医療・介護・子育て」の4分野に使うこととされています。※令和元年10月に予定されている消費税率引き上げの影響は令和2年度予算からになります。

消費税率引き上げによる本市の令和元年度予算における増収見込額

約104億円

財源として活用

社会保障の充実の主な取組

子育て支援の充実

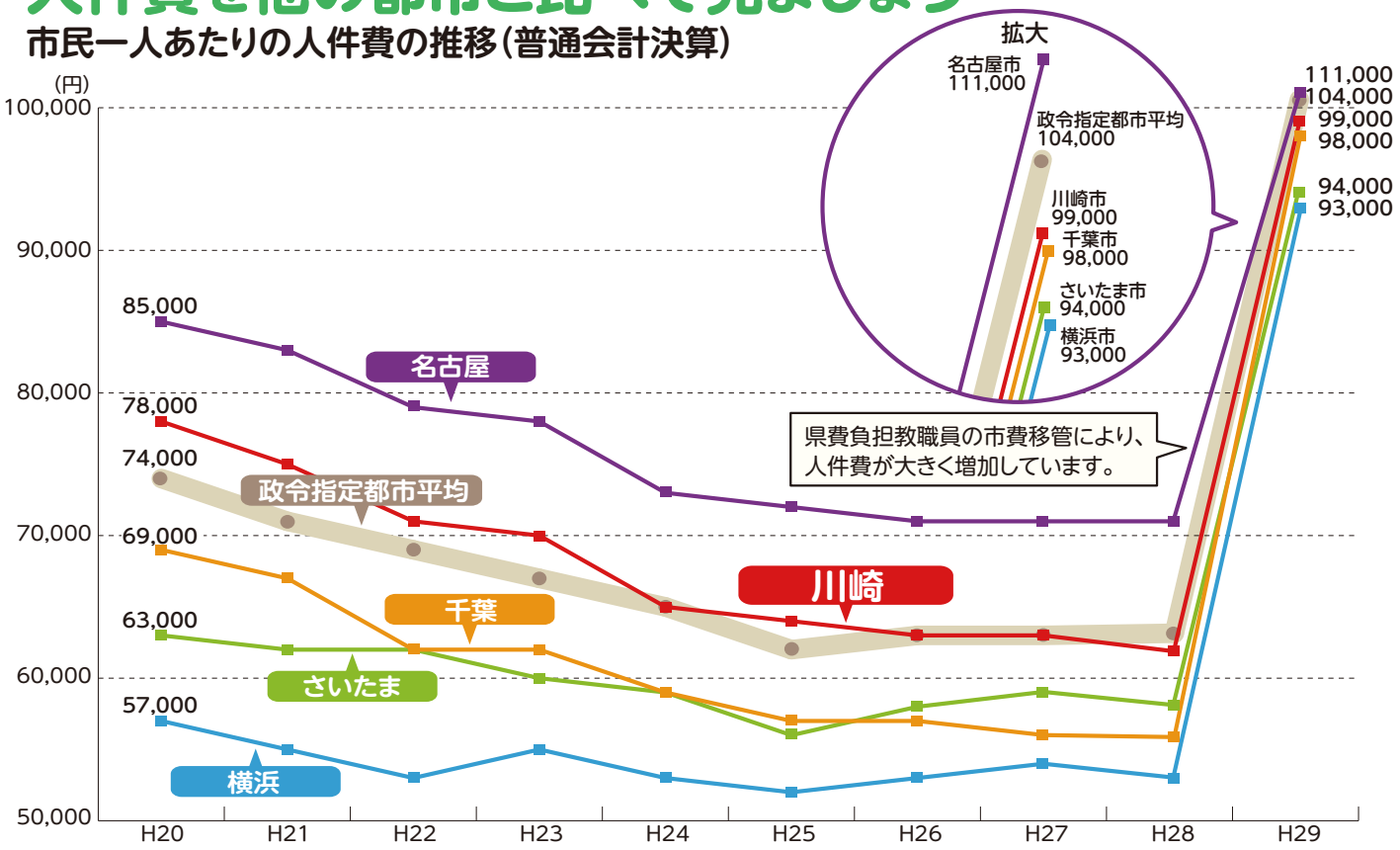
介護事業の充実

川崎市の財政を知ろう 9

人件費は適切な額になるよう見直しに努めています。

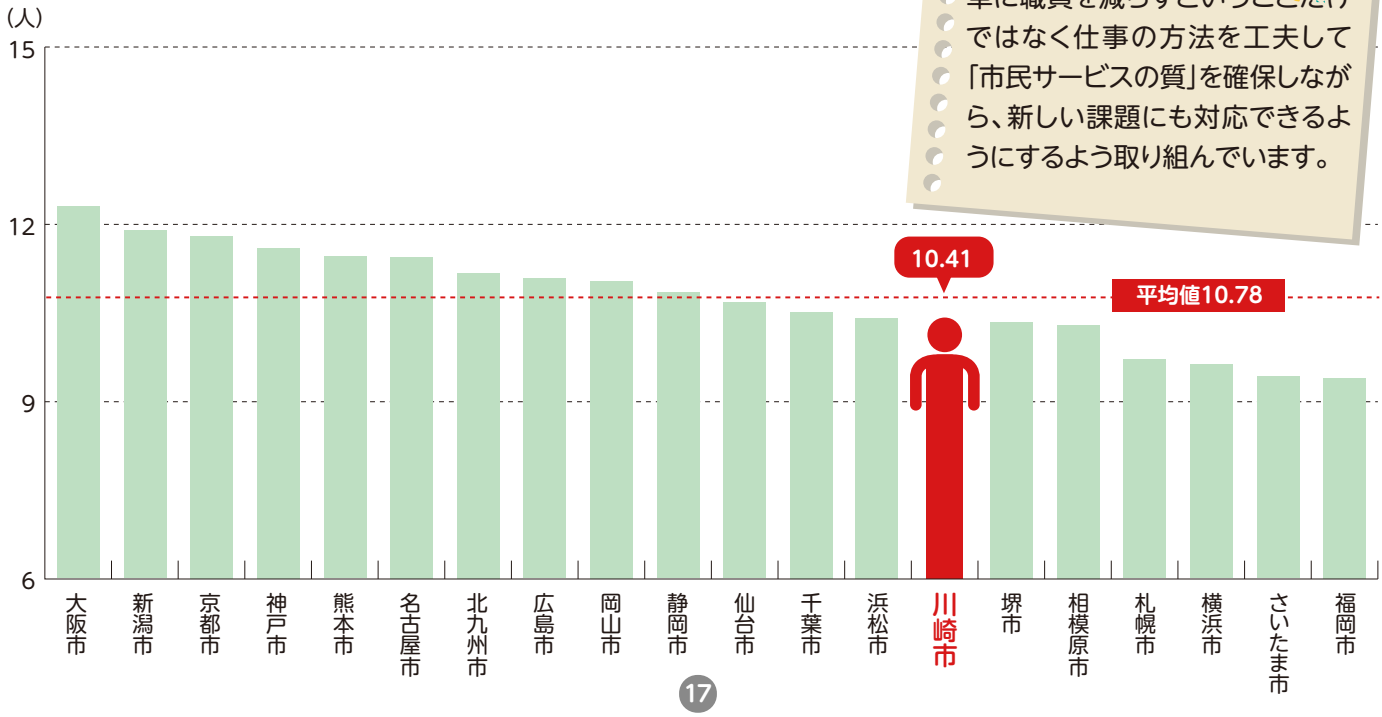
人件費を他の都市と比べて見ましょう

市民一人あたりの人件費の推移（普通会計決算）



職員の数を他の都市と比べてみると…

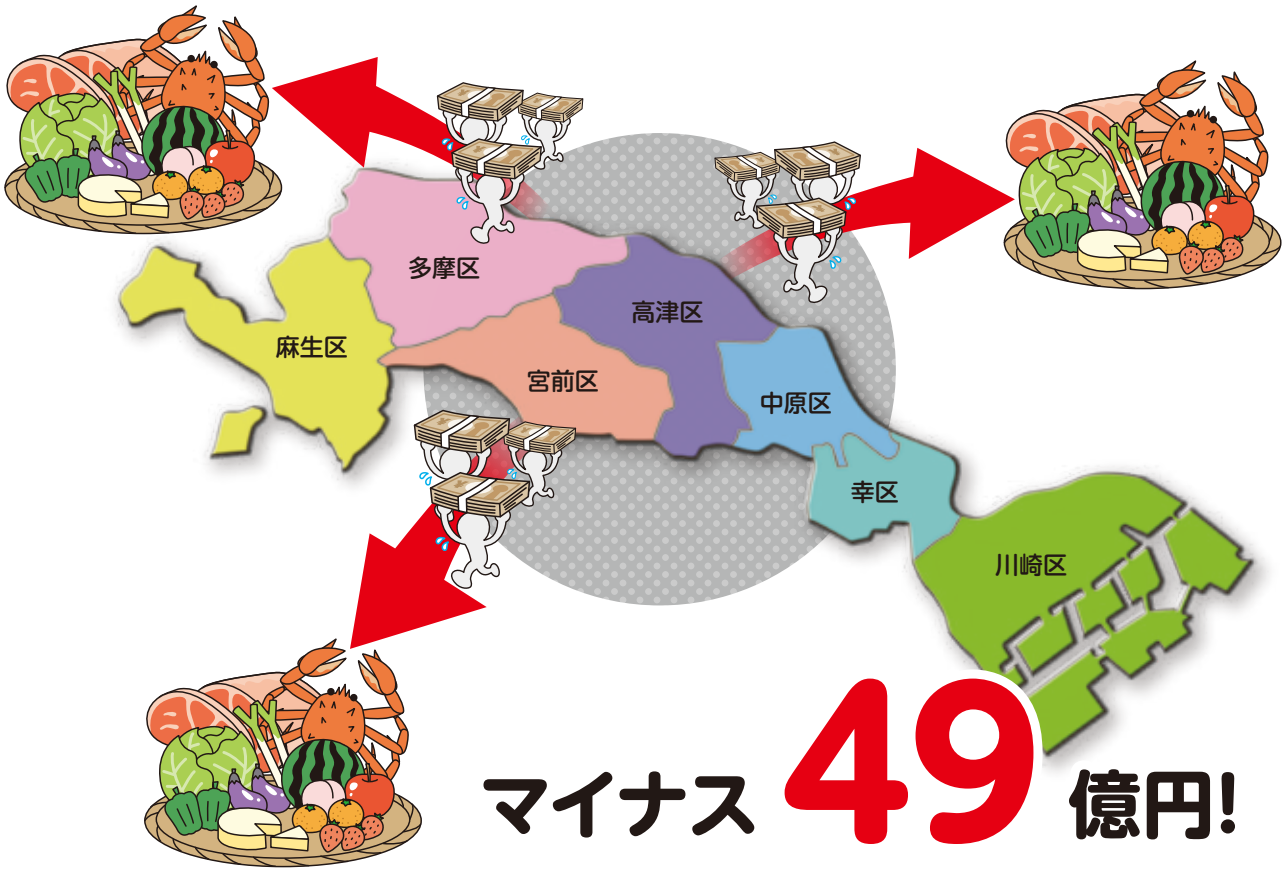
政令指定都市人口1,000人あたりの職員数
（平成29年度普通会計決算）



単に職員を減らすということだけではなく仕事の方法を工夫して「市民サービスの質」を確保しながら、新しい課題にも対応できるようにするよう取り組んでいます。

コラム

ふるさと納税で困っています



マイナス 49 億円!

ふるさと納税によって本市から市税が流出しています!
（令和元年度予算時点の見込額）

市内納税者の**1割（8万人）**が他の自治体に寄附し、件数・金額は毎年増えています。
市民の皆さんが他の自治体に寄附をすると、市の税収が減ってしまいます!

49億円分の行政サービスとは…

例①
保育園の運営経費なら
園児約**3,000**人分

例②
ごみ収集・処理経費なら
全世帯の約**4**割相当

●考えて下さい、ふるさと納税

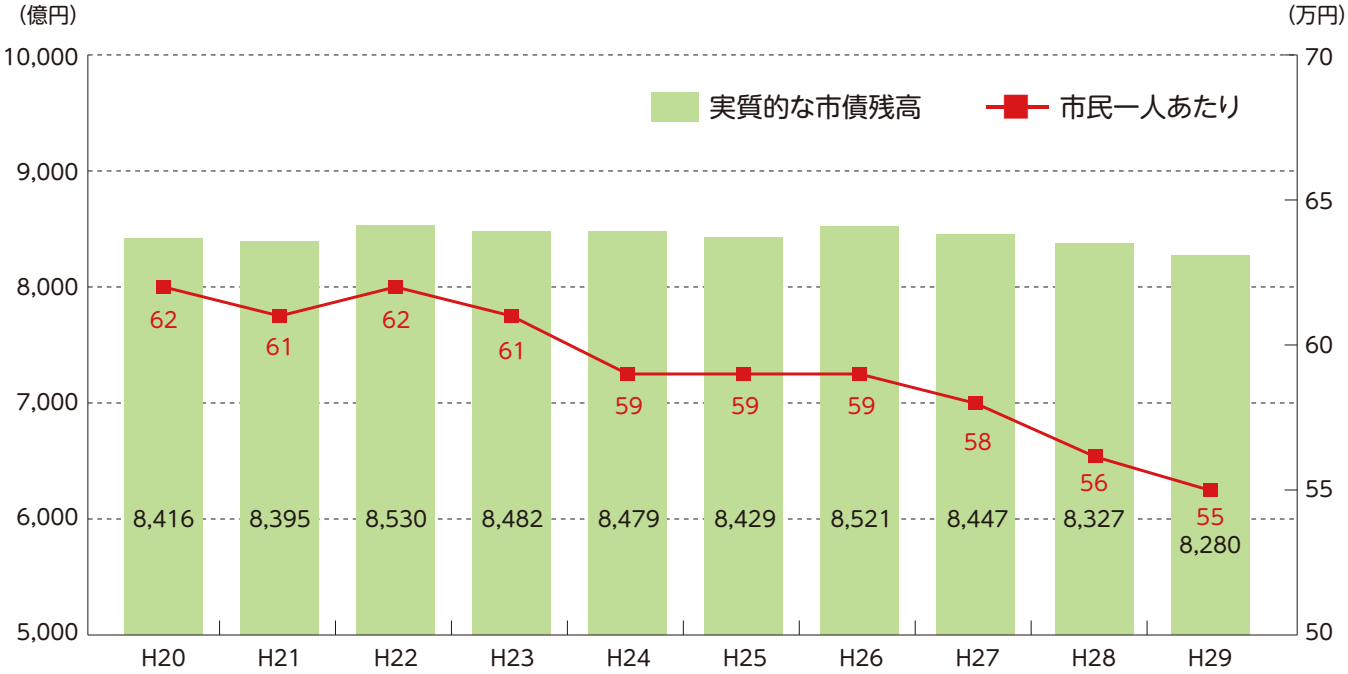
ふるさと納税制度は、ふるさとや自治体の様々な取組を応援する気持ちを形にする仕組みとして創設された制度ですが、最近では返礼品競争が過熱し、制度創設の趣旨に反する事態が生じています。

川崎市の財政を知ろう 10

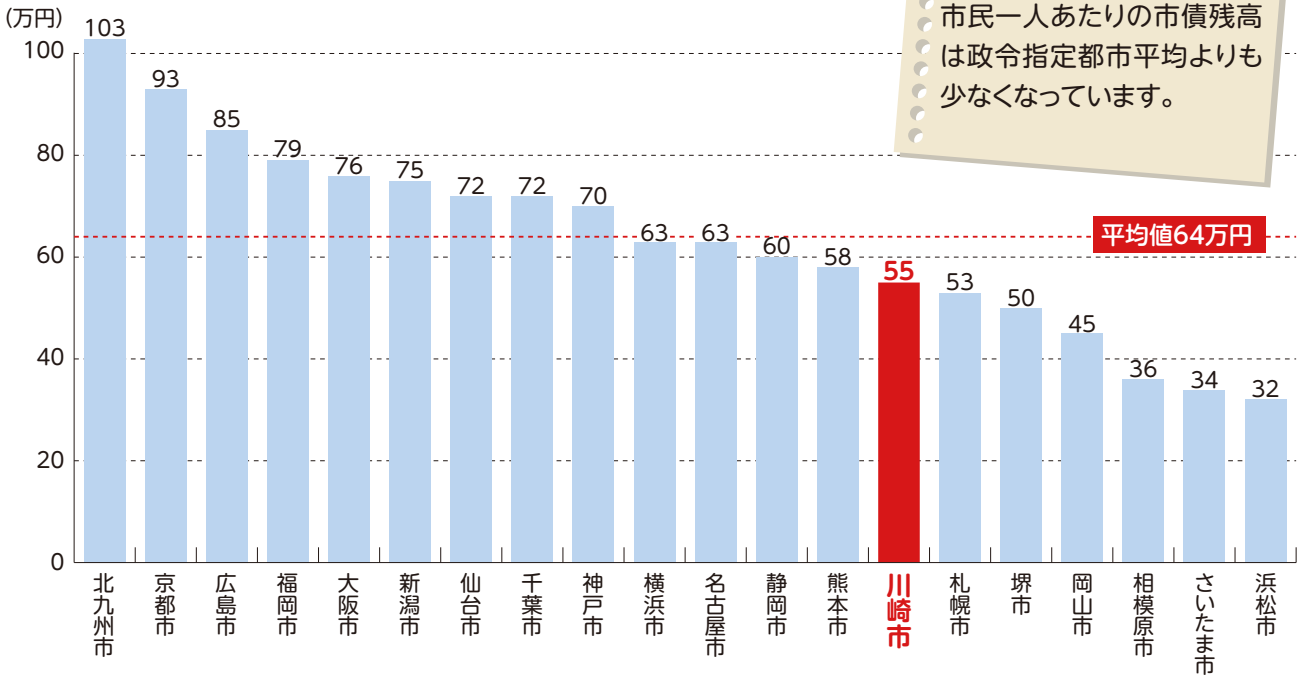
市の将来像を確認しながら借入金のバランスを考えています。

市債の残高はどうなっているの?

実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移（普通会計決算額）



政令指定都市市民一人あたりの実質的な市債残高（平成29年度 普通会計決算）

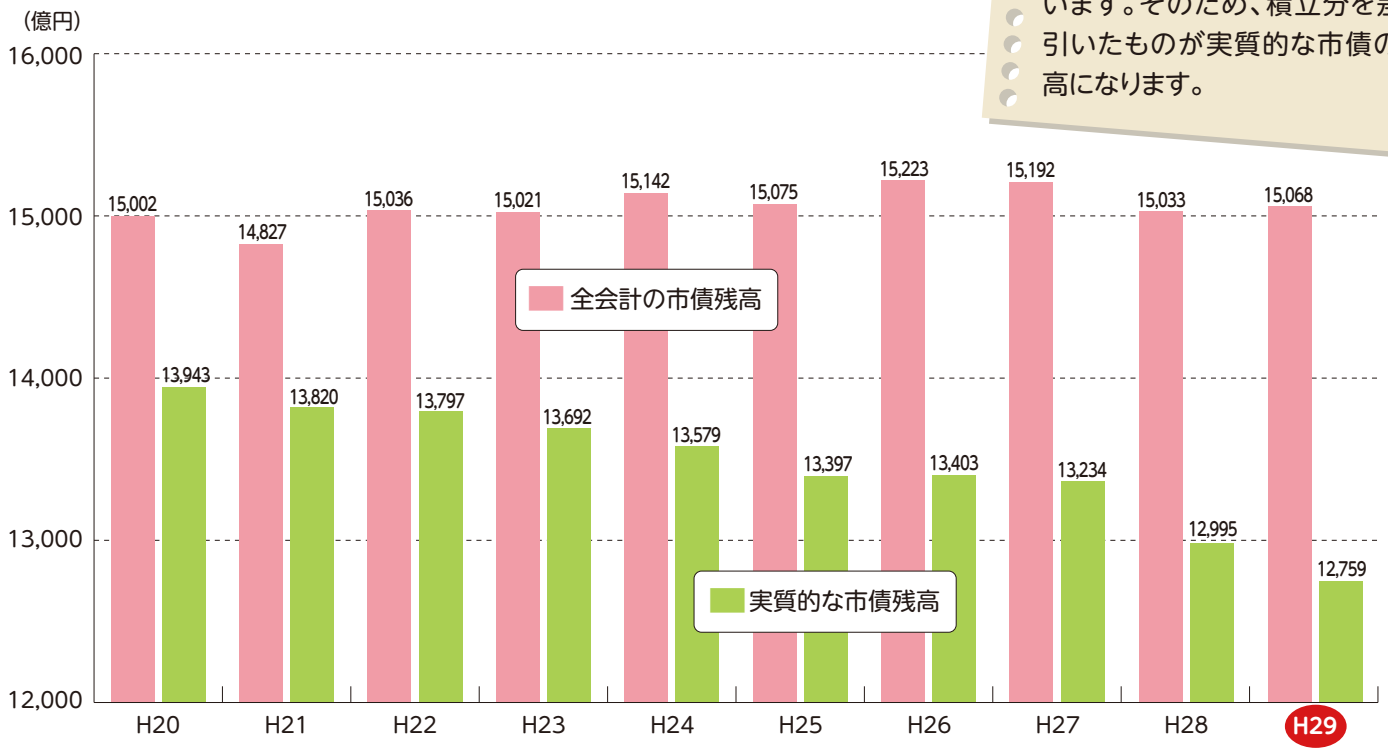


市民一人あたりの市債残高は政令指定都市平均よりも少なくなっています。

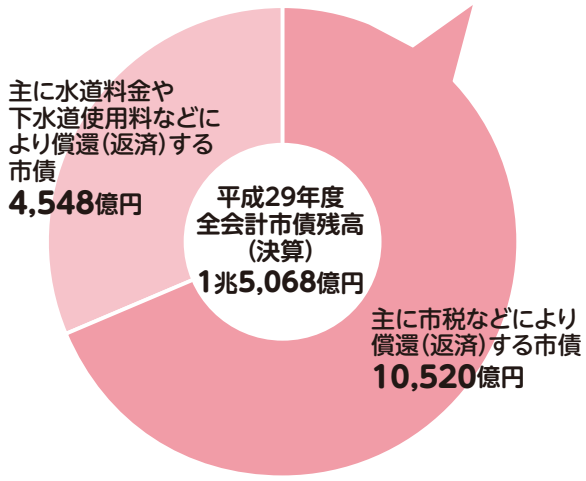
全会計の「実質的な」市債残高は?

市債の償還(借金の返済)を計画的に行うために、積立てを行っています。そのため、積立分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。

全会計の市債残高の推移



実質的な市債残高は減少傾向にありますが、次世代の市民に大きな負担にならないよう、将来への負担を明らかにして事業を行い、計画的に借入れをしていくことが大切です。



財政の健康診断

財政状況をチェックする4つの指標

地方自治体は、平成19年度決算から財政の健全性を判断するための4つの指標を公表することが法律で義務づけられました。川崎市でもこの指標でチェックした結果、どの指標においても財政状況は健全な状況を維持しています。

実質赤字比率	一般会計などの実質的な赤字を示すもの
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算し、全体の赤字の程度を示すもの
実質公債費比率	長期の借入金やこれに準じた経費の額の大きさを指標化し、実質的な元利償還費の水準を示すもの
将来負担比率	一般会計等借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での額の程度を指標化し、将来的に財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの

減債基金ってどうして必要なの?

なぜ借金して施設を建てるの?

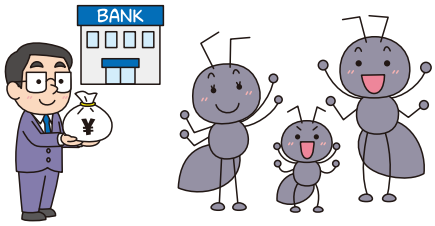
学校などの公共施設を建てるには、多額のお金が必要です。その年度の予算だけを使った場合、**施設は何年も使うのに、建設費の負担は、その時の市民だけになってしまいますし、他の行政サービスに予算が回らなくなる**などの影響が出てしまいます。そのため、借金をして公共施設を建てています。

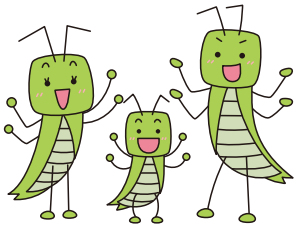
借金を返すために**減債基金に貯金しているって聞いたけど、そんな必要あるの?**

個人の住宅ローンの場合は、借りたお金の一定額を毎月返済しますが、**市の借金は最終返済日に全額を返す満期一括償還という方法で借りることがあります**。その場合は、**毎年度一定額を減債基金に貯めて、最終返済日に備えることが必要**です。計画立てて貯めることがどれだけ大切か、下の例で考えてみましょう。

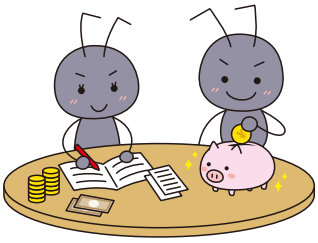
返済計画って大事!!

アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家を建てました
銀行へは、毎月一定額を返す住宅ローンの方法ではなく、30年後に一括で返す約束です

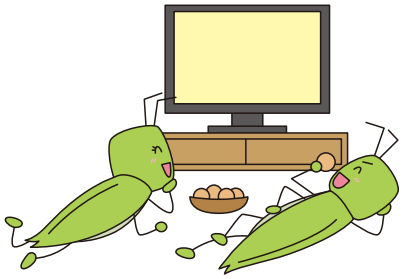




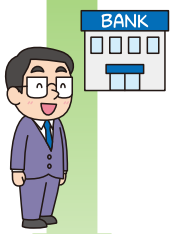
アリは、30年後の一括返済に備えて、
住宅ローンのように毎月返す分を
貯金することにしました



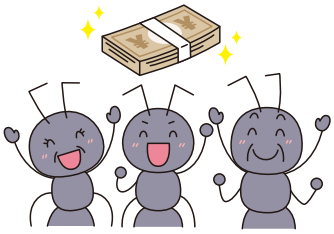
キリギリスは30年も先のことだから、
まだ大丈夫と考えています



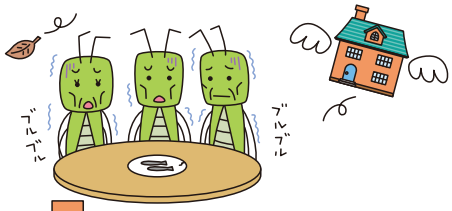
30年後返済する日が
来ました

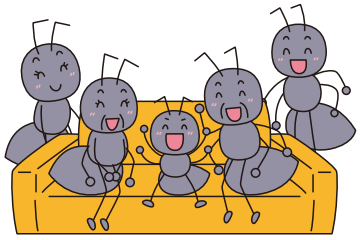


アリは計画通り貯金していたので
返済できました



キリギリスは借金を返済できず
家にも住めなくなってしまいました
こどもには借金が残り、生活も苦しくなりました





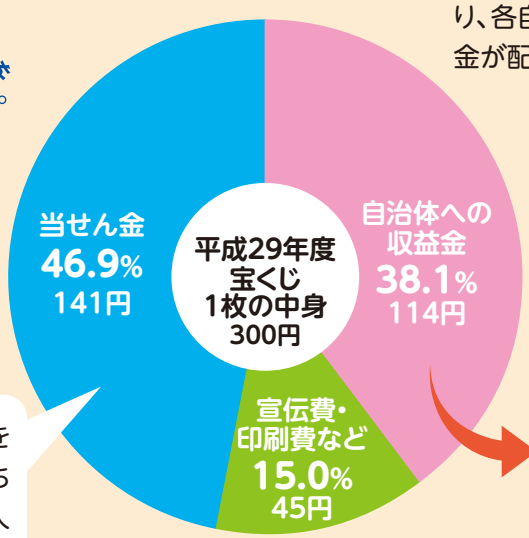
アリの家族は家の修繕も行い、
みんなで末長く幸せに暮らしました

返済のために**計画を立ててお金をためないと**、世代間の負担が不公平になったり、**次の世代に負担を先送り**することになってしまいます。**計画に基づき、減債基金にお金を積み上げていくことはとても重要です。**

知っていますか？
これも市の事業なんです

宝くじの購入は川崎市内で

宝くじは、都道府県、川崎市を含む政令指定都市が共同で販売しており、各自治体の売上げに応じて収益金が配分されます。



例えば300円の宝くじを買ったとしたら、そのうちの約141円は当たった人に支払われます。

令和元年度
宝くじ収益金を使う主な事業

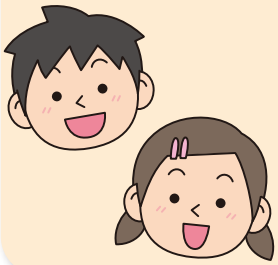
- 予防接種の実施
- がん検診の実施
- 消防車両・救急車両の購入
- 小児医療費の助成
- 妊婦の健康診査
- 地域子育て支援
- 資源物の分別収集
- 公園施設の改修
- 芸術文化の振興
- 多摩川を活用したスポーツ大会の開催など

川崎市　宝くじ　検索

http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-2-0-0-0-0-0-0-0.html

競馬・競輪事業の収益は皆さんの身近な暮らしに役立っています

競馬・競輪事業の収益金の一部は、子ども・若者応援基金積立金、義務教育施設の整備等に使われており、皆さんの身近な暮らしに役立っています。



競馬事業
1億8千万円

競輪事業
1億3千万円

→

子ども・若者応援基金積立金
3千万円

義務教育施設整備事業
2億8千万円

あなたも川崎市を サポートできます！

市債を購入して未来の川崎市のまちづくりに参加しませんか？

川崎市では、市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備等のために必要となる資金の一部を借り入れるため、定期的に「川崎市債」を発行しています。
市債は川崎市内の特定の金融機関の窓口で誰でも買うことができます。

川崎市　投資家情報　検索
http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html

令和元年度 川崎市市債発行予定

5年債	発行総額210億円	4月・7月10月　各70億円
10年債	発行総額100億円	12月　100億円

※この他に、他の県や市と共同で発行しているものや、機関投資家向けの超長期債があります。

「最幸のまち かわさき」に ふるさと納税

川崎市への寄附については、寄附していただいた方の御意向に沿いまして、福祉や芸術・文化、環境をはじめ様々な分野に活用させていただいており、市民サービスの充実につなげています。
本市の魅力を全国の方々に知っていただき、本市を応援したいという思いを施策に反映させてまいりますので、応援をお願いいたします。

川崎市　ふるさと応援寄附金　検索
http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html

令和元年度より下記のメニューを追加しております

かわさき健幸福寿プロジェクト	学校ふるさと応援寄附金 (指定された学校の課題解決)	浮世絵等活用事業
公園緑地の整備・緑の創出・街路樹管理の推進	緑地の保全	中学生向け科学技術副読本の充実
企業家育成とベンチャー企業支援の充実	地産地消の推進	キングスカイフロントの拠点整備や最先端技術の振興

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください。

川崎市　財政　検索　http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-3-0-0-0-0-0-0-0-0.html

ご意見・ご感想をぜひお寄せ願います。

川崎市財政局財政部庶務課　電話：044-200-2176　FAX：044-200-3904　Email：23syomu@city.kawasaki.jp